

広報 たかもり

発行 阿蘇郡高森町役場 TEL (高森局09676) ②0611 [代表]



197号
昭和51年
1月1日

書きぞめで「気分一新」

毛筆に墨じゅうをたっぷり含ませ、
走った。「希望の春」「初日の出」
一字一字に力がこもる。
正月の気分も改まった二日、高
森上町の中川俊子さん(五)が近
所のチビっ子を集めて開いた恒例

の書きぞめ会だ。
このころは暮らしの上で墨字が
見直され、書道を習う人がふえて
いる。習字は精神修養や情操教育
にはもってこい。あなたも、この
新年から習字を始めては!

おもな内容

- 新年のごあいさつ(町長・議長).....(2)
- 選挙をきれいにする研修会開く.....(3)
- 大人の仲間 137人.....(4)
- 町史編さんすすむ
- たかもりの民話・郷土の博物誌.....(5)
- 町民のひろば(読者がつくるページ).....(7)
- 町民文芸・おめでた・おくやみ.....(8)

人口

—11月30日現在—

9,879人 男... 4,788人
女... 5,091人

世帯数.....2,621

転入 17 出生 8

転出 25 死亡 8



俳句

「新年」

元朝の心新たに暦繰る
住み古りし静けき里の初景色
そと匂う春着に秘めし香袋
妻の座に近く今年も初暦
熱燗に身の上話繰り返す
旗高く火の山裾を初荷行く
老眼鏡丁寧に拭き春着縫う
春着の子揃いの手玉もてあそぶ
ふところ父の賀状や厨ごと
三年ぶり夫の加はる雑煮かな
初孫に汽車を書きそえ賀状出す
丹念に収支書きこみ初日記
進学を終えて和やか今朝の春
恙なきいとせ願ひ初詣
住き話進み娘の春着縫う
大試験二つ控えし初暦
末の子に手を貸し居蘇も人並に
母語る昔ばなしに炬を囲み
見まごうや事務服脱ぎし春着の娘
病む手もて母編み給うお年玉

肥後狂句

まだ孝行させて欲しかった
逃げ切って 祝福の無ア新世帯

岡本 琴司

雑詠

元旦 社倉 今泉多美江(38)

初日てる吉見の森はおごそかに
静かにあふるる御たらしの水

まだアトリエの要る腕ばしか
逃げ切って口惜しゅう剥がすモンタージュ
現金な奴 彼氏の声は床上ぐる
途中下車 阿蘇にや恩師の墓のある
まだく 世界記録に程遠イ
逃げ切って また大穴でゴールイン
現金な奴 手ぶらで行けば茶も出さん
貰うたしこう包みおる

浦塚 南天
林田 一声
馬原 馬笑
田上黙公子

初詣木の香も匂ふ拝殿に
ならず柏手神に通ぜよ

暗きよりくらき道にと迷ふ人を
あわれと照せ神の御光

さすらへば四面楚歌の声
かなしとも己が心に神を宿して

おめでた おくやみ

出生	出生年月日	性別	(性児)	(保護者)	(住所)
旭通	50.10.30	女	めぐみ	二子石範男	中
天神	50.11.9	男	隆	後藤 正記	中
天冬	50.11.28	男	敬	岩下 雅文	中
上在	50.11.28	女	南	前田 史生	中
天神	50.11.20	女	和美	前田 一信	中
小倉原	50.11.23	女	千穂	村上 育雄	中
横町	50.11.30	女	恵	谷川 武継	中
旭通	50.12.4	男	誠	桐原 孝治	中
井上	50.12.7	女	和美	住吉 早雄	中
山鳥	50.12.8	男	慎悟	山諸 仁昭	中
矢津田	50.11.10	女	真紀	二子石一人	中
芹口	50.11.14	男	和吉	有働 良夫	中
中	50.11.29	男	寿郎	矢津田 郎	中

死亡

死亡	死亡年月日	(年齢)	(続柄)	(遺族)	(住所)
横町	50.12.5	77	養父	古木 繁利	古木 芳夫
尾下	50.11.21	73	母	宮本マサカ	宮本 宗継
津留	50.11.23	66	妻	松本ツモリ	松本八州男
津留	50.11.26	78	妻	小倉キクエ	小倉 達美

香典返し

ありがとうございます。
▽芹口、馬場の後藤直義さんから(妻、カ子ノさん・70歳死去)
▽永野原、小樽木の後藤俊暢さんから(父、茂廣さん・75歳死去)
▽芹口、中村の大内田親さんから(養父、義孝さん・78歳死去)

日曜在宅医

4日 馬原医院 上町②0646
11日 東 医院 旭通②0309
18日 寺崎医院 白川②0378
25日 小林医院 横町②0075

'76おめでとう ございます

年頭所感

住民福祉の向上を図る

高森町長 岩下 八束



あけましておめでとうございませう。皆様には希望に満ちた昭和五十一年の新春をご家族おそろいで健やかに迎えられたことと心からお喜び申し上げます。おかげをもちまして、町勢も日一日と進展の一途をたどっており、皆様方の平素のご協力に対し、衷心より厚くお礼申し上げます。

さて、昨年をふり返ってみますと、高度経済成長から福祉優先へと大きく流れを変えて三年目の年でありましたが、物価高と不況はますます深刻化し、国の経済政策も総需要抑制という緊縮財政となり、経済的に厳しい年でありました。しかし、高森町におきましては、国鉄高森—高千穂間の延長工事を始め、国道二六、五号線の改良、南阿蘇国民休暇村の建設工事も順調に進み、さらには畜産基地づくりを目指す広域農業開発事業

もスタートするなど、大事業が大きく前進しました。また、一般行政につきましても窮屈な財政の中で「社会—水迫線」「取首—水堀線」「河原農免道路」などの主要町—農道や草部の基幹集落センター、草部保育所の建設あるいは高尾野、峰の宿の簡易水道など各種の事業がいずれも予定どおりの進捗ぶりをみせています。このような成果は皆様方の協力、ご理解によるものであり、ここに深甚なる敬意を表しますとともに、心からご同慶に存する次第です。

ところで、経済の変動は好景気から不景気へ。不景気から好景気へと小さな周期をくり返しながら五十年、六十年の大きな周期をもりまわっています。しかし、町民各位の福祉向上を図る諸施策は積極的に推進されなければならぬと思えます。町民のご期待を裏切らないよう「住みよきふる里、明日に伸びる町づくり」を目指して、町執行部と相携えて、今年の難局を乗り切る心構えで議員一同張り切っております。

昭和五十一年の新春を迎えるに当たり、高森町議会を代表しまして、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。町民の皆さん、明けましておめでとうございませう。各位の清福とご繁栄を心からお祈り申し上げます。

願いますと、昨年四月の統一地方選挙で新議会が発足し、不肖私が三たび議長に就任いたしました。爾来、その責任の重大さを痛感し、微力ながらも円滑な議会運営と町勢の伸展を期して誠心誠意努力してまいりました。諸工事も順調な進捗で、今後の

展開が期待されています。しかしその反面、水資源対策や道路交通、公害など私たちの生活をおびやかす憂うべき諸問題も発生しつつある事実も見逃さず、執行部と相携えて、今年度の難局を乗り切る心構えで議員一同張り切っております。

この五十一年は、不景気時代に対処する総需要抑制という国の緊縮財政下において、町政も思うにまかせないと思われまますが、不景気なものや、消費的経費は極力これを抑制して、財政の健全化に努め、県などの高率補助による山村特別開発事業、第二次林業構造改善事業、町、農道の整備などは継続して行い、新規事業としては直接皆様の生活につながる草部北部保育所、町民福祉センターなどの建設を考えております。

新年のごあいさつ

高森町議会議長 松田 富男



願いますと、昨年四月の統一地方選挙で新議会が発足し、不肖私が三たび議長に就任いたしました。爾来、その責任の重大さを痛感し、微力ながらも円滑な議会運営と町勢の伸展を期して誠心誠意努力してまいりました。諸工事も順調な進捗で、今後の

展開が期待されています。しかしその反面、水資源対策や道路交通、公害など私たちの生活をおびやかす憂うべき諸問題も発生しつつある事実も見逃さず、執行部と相携えて、今年度の難局を乗り切る心構えで議員一同張り切っております。

どうか町民各位の深いご理解と温かいご協力をお願いいたしますとともに、皆様のご健康とご多幸を祈念して新年のごあいさつといたします。

幸い健康に恵まれ、すこぶる元気です。本年も町発展のため全力投球する所存でございます。どうか皆様のご協力、ご指導、ご鞭撻を切にお願い申し上げます。

全くなげかわしい。こんな観点からの考えからは、真の幸せは絶対に生まれないような気がする。今は自分を取り戻す絶好の季節。生活にかまけて大事な本当の自分を見失っていたことに気づいて、すぐに猛省すべきことである。

町民のひろば

読者がつくるページ

声



この欄……「声」はみなさんのページです。町に対するご意見、要望、苦情などなんでもご投稿ください。

皇居奉仕の回顧

2

高森下町 二子石 開 (73)

宮内省庁舎は昭和七年四月鉄筋三階建てにて新築當時は近代的であ

ったが四十年を経た今日は多少改造はされて居たが時代遅れの感があった。筆者は昭和七年より二十年迄庁舎内の内蔵寮主計課に勤務して居たので記憶を辿って思い出を記したいと思う。

先づ昭和十二年の二・二六事件の際は三階の大連の応接室に内閣が引越して日本国民を不安と動揺に陥れた大事件の解決に当時の後藤文夫内務大臣は臨時首相として閣議を開き寒中徹夜にて事件の解決に当られた。当時唯一一人の元老西園寺公望公は事態を憂慮されて駿河台の自邸より老軀に拘らず宮中杖をつけて閣議の隣の大秘書官室に

て閣議の進展に関心を寄せられて居た。一方内大臣の応接室に於ては軍事参議官(現役陸海軍大将)会議は熱の籠った論議が廊下で聞取れた。然し斯の如き大事変も、天皇陛下の「兵に告ぐ今からでも遅くない直ちに原隊に復せよ」との御言葉にて急転直下平穩裡に解決された事に日本国民は齊しく誇と幸せを感じた事と思う。

毎年のテレビやラジオなどで成人式の喜びの声を聞き、しみじみと考えさせられるものがある。男は二十歳になる一つの区切りがあり、合格してもしなくても、一つのけじめがつき大人になった責任を切に感じさせられた。

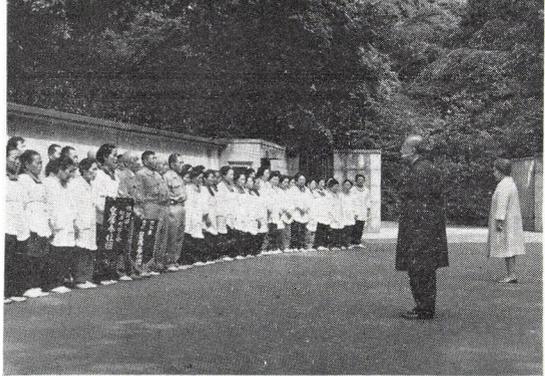
大切な人間の「けじめ」

津 馬 原 範 三 (72)

ひとり人間ばかりではない。月日もそして来月は去り、去っては来る年もまた旅人なのである。共に住み、共に働き、さらにバスや汽車に乗り合わせた人を、どうしておろそかに出来よう。押し合いへし合いながら、やがては別れなければならない人生である。

恨みあっても、親しみ合ってもはかなくいずことも消えて行かねばならぬ人生。それを思えば、いつまでもうかうかとしておれぬ。まず第一期の「けじめ」をきちんとつけてスタートしたいものである。

若者よ、自己をよりよく猛省してムチ打ち力強く生きよ。へこたれぬ歯を食いしばって――。



奉仕団を賜閲される両陛下

お知らせ



新有権者の 感想文募集

自治省および明るい選挙推進協議会の主催で五十一年度新有権者の感想文募集が次のとおり行われています。

▼応募内容と標題▶新有権者または社会人として地方自治や国政への参加について、自分自身で経験し、もしくは考えたり、感じたりしたこと▶字数▶四百字詰原稿用紙四枚以内▶応募資格▶昭和三十一年一月一日から三十一年十二月三十一日までの間に生まれたもの▶締切日▶一月三十一日(当日消印有効)▶提出先および応募要領は町選挙管理委員会(役場内)へ。

交通事故証明は 運転センターで

これまで警察署で発行していた交通事故証明は、一月一日から熊本市の自動車安全運転センター(熊本事務所)で取扱うことになりました。証明の必要な方は申請書(郵便振替用紙に印刷したもの)に手数料を添えて、最寄りの郵便局か

ら申し込んでください。申請書は警察署、派出所、駐在所、損害保険会社、農業協同組合にあります。また自分の運転経歴について、無事故、無違反の証明の必要な方や、交通違反の現在の点数を知りたい方にも本人の申請で証明書を発行します。申し込みの方法は事故証明の場合と同様です。なお、センターの事務所は熊本市保田窪本町石の本九五二 交通安全会館内です。

訓練校で技能 身につけよう

産業界のきびしい雇用状態の中で、生活の安定を図るため有能な技能者をめざしましょう。熊本総合高等職業訓練校では、五十一年四月入校の訓練生を募集しています。資格は中学、高校卒業者のほか、現在の職業をかえたい人、失業中の人で技能を身につけたい人(年齢は問いません)。科目は板金、電気機器、自動車整備、塗装など。【応募方法】三月卒業見込みの方は学校経由で、その他の方は直

接し訓練校か公共職業安定所経由で願書を出してください。

【募集期間】五十一年一月五日から二十四日まで(転換訓練生は三月十日まで)

【特典】①高等訓練課程では、技能者育成資金(月四千元)の貸付制度があります②職業転換訓練課程では雇用保険金が在学中延長して支給され、雇用保険のない方は訓練手当が支給されます③交通機関は学生割引が適用され、遠隔地の方のために寄宿舎があります。※くわしくは菊池郡西合志町黒石熊本総合高等職業訓練校へ。

1月16日から保 育所の入所受付

五十一年度の高森、野尻、草部南部各保育所の入所申し込みを次のとおり受け付けます。

【入所要件】①母親が家庭外の仕事に従事しており、母親以外の人も保育ができない場合②家庭内の仕事でも児童と離れて家事以外の仕事に従事する場合(但し、父親がその仕事に従事し、使用人がいる場合などは除かれます)③母親の死亡、行方不明、拘禁、出産前後、病氣、心身障害のほか家庭に長期病人や心身障害者があり、母親が看護にあたり、破損のため復旧の間保育ができない家庭。

【受付期間】一月十六日から一月三十一日まで
※申込先および詳細については役場町民課福祉係へ

商工会で年末 調整など指導

年末調整の時期となりました。一月十日までに税額計算納付をしなければなりません。年末調整とは、毎月の給料から納めた税金の一年分を精算することです。この年末調整が誤りなく行われるためには、勤務先に扶養親族などの申告を正しく行うことが大切です。また法定調書の提出期限は一月二十一日までとなっています。青色申告者(個人)で、これらのことについてわからない場合は、商工会で相談、指導を行っていただきます。早目においでください。

高森幼稚園で 入園児を募集

高森幼稚園(後藤幸子園長)では、五十一年度の入園児を募集しています。【募集人員】三歳児▶二十人、四歳児▶二十五人、五歳児▶三十五人 ※入園ご希望の方は、二月二十八日まで直接、幼稚園にお申し込みください。

わたしの一口年賀状



上色見・西中原 佐伯根自子(19) <農協職員>

今年から成人の仲間入りさせてもらいます。そこで今年からいろんなことに興味を持ちたいと思っています。たとえば、母と姉まかせの料理を自分で作るとか、余暇があれば「おけいこ」ことも習ってみたい。それにレコード鑑賞、読書、スポーツなどやりたいことがetc...

色見・中園 住吉 恭子(36) <農業>



初春を迎え、こども新しい希望を持って、陸稲、タバコづくりに頑張ります。農業はいいものです。都会にあらがれている若い皆さん、いなかに残って頑張ります。都会は見物する所にはおもしろく楽しい所でしょうが、堅実な生活をするには農業が一番です。この豊かな土地で、あなたもぜひ生産の喜びを。

☆ ☆

選挙を奇麗にする研修会開く

「寄付制限」に質疑集中 明るい選挙のあり方確認

選挙をきれいにする研修会(町選挙管理委員会、町明るい選挙推進協議会主催)は、十二月五日午前十時から畜産センターに町議会議員、駐在員、婦人会、青年団幹部など約百五十人が集まって開かれました。今回はさきに公職選挙

法の一部が改正されたのに伴い「選挙の公正を確保するとともに、金のかからない選挙の実現を図る」を目的に関係者の説明を聞き、美しい選挙のあり方を確認し合いました。

主催者の開会あいさつのおあと、



改正選挙法の説明を聞く参加者たち

福富、村上両県選管書記が①供託金の額の引き上げ②選挙公営の拡充③寄付行為の制限④文書、図書の掲示⑤連座制の強化などを講義しましたが、とくに寄付の禁止については身近な問題だけに、会場では活発な質疑がなされました。読いて二子石町青年団体連絡協議会長、山村高森婦人会長、それに本田草部北部婦人会長が意見発表。

消防車など購入

町の防火体制強める



本部に配置された新鋭の消防自動車

町では、このほど新しい消防自動車一台と小型動力ポンプ三台を購入、各分団に配置して消防の機動力を増強しました。

消防自動車は四千cc、百二十馬力の四輪駆動中型車。小型動力ポンプの二倍以上の威力をもつ、二段バランスタビンを備え、四カ所からの同時放水も可能。付属品としてサーチライト、ハンゴ、大型消火器なども装備されています。

価格は五百二十五万円。また小型動力ポンプは、いずれも三十馬力で、放水能力は毎分一ト。従来のも

報センター専務の筑紫汎三氏が「中国見たまま」と題し約一時間にわたって講演しました。

このあと、岩下色見婦人会長から同研修会を町民大会に切り替えたい旨の動議があったため全員が賛同、「明るい選挙の実現に、さらに努力することを誓う」と大会決議をしました。

わたしの一口年賀状



高森・森 岩下一良(50) <町消防団消防本部長>

家族おそろいで楽しくお正月をお迎えのことと存じます。本年も火の用心をよろしく願います。火は人とともに生きています。取り扱いを誤りますと、数代にわたって築かれた財産も十数分で灰になります。ただ施設や消防団にたよるばかりでなく、全町民こぞって防火意識の徹底を図り、ことしも無火災の年にしようではありませんか。

☆☆



津留・仲江 野尻健一(30) <農業>

一昨年来の不景気の良い年とはいえませんが、せんでしたがことに期待をかけています。私たちが農業者にとっては、まず何といっても農産物の価格安定が第一。関係当局ではもっと、生産物の流通や価格の保証の検討をすすめてほしいものです。

